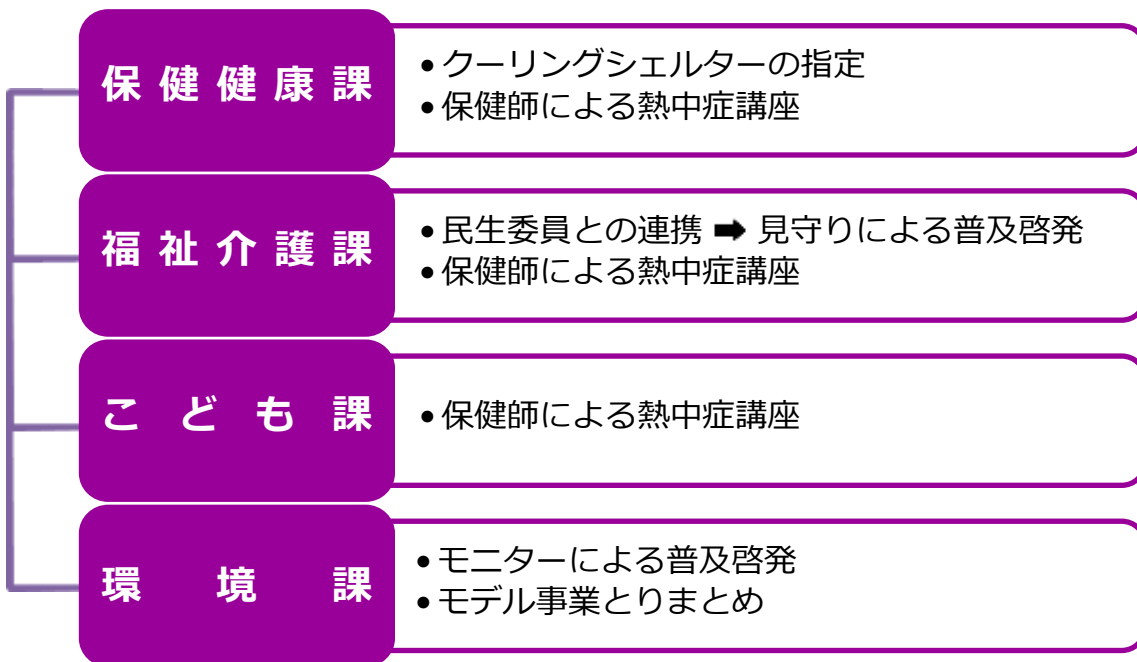


開成町 小さい町ならではの総ぐるみでの熱中症対策

- 「見守りをする民生委員向け講座」「高齢者が多く参加する自治会行事等」「新たに指定されたクーリングシェルターでの職員向け講座」「町民や指定管理者向けのクーリングシェルターでの講座」など、**様々な場面で保健師による熱中症対策講座を計37回実施**。
- **各課の事業者とのつながりを活かし**、金融機関、薬局、福祉介護施設や自動車販売店等と協力。クーリングシェルターは**4か所から23か所へ拡大**し、町内全域にクーリングシェルターが設置されるようになった。

▼町保健師全員が一丸となって熱中症対策に取り組む体制を構築

11課で行われる熱中症警戒アラートに関する会議で4課の取組を共有



◀モニターによる普及啓発

- ・危険度が伝わりやすい
- ・WBGTデータの収集も可能



◀クーリングシェルターでの熱中症対策講座

- ・認知向上や利用促進につながる
- ・職員向けの講座や救急対応物品の備えつけにより、熱中症患者の受入体制を整えた

■工夫した点・苦労した点

- ・小さな町だからこそ、日ごろから職員と民生委員や事業者との密接な関係性が構築されており、依頼や連携が円滑に進められた。また、庁内の連携もスムーズに行うことができた。